

家庭学習の手引き 保護者用

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとっても大切なものです。

小学校のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。
(5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきなど何でも構いませんので必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

- ・ 低学年 15分から20分以上
- ・ 中学年 30分から40分以上
- ・ 高学年 50分から60分以上

3 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

②学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてあげることで、お子さんはどんどんやる気を出します。

1週間に1回、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いします。

④学校との連携

お子さんの学習の様子を担当にお知らせください。

か てい がくしゅう て び

家庭学習の手引き

中学年用

徳島市城東小学校

家庭学習のてびき 中学年用

家庭学習の目的（もくてき）は、学んだことをもう一度ふり返り、学校で学んだことをしっかりと身につけるためのものです。また、自分から進んで勉強する力や学習の習かんと身につけることにより生きる力を高めていくためのものでもあります。

よい生活の習かんと身につけよう

学力アップは、きそく正しい生活から

- ① 「早ね・早起き・朝ごはん」を守ろう。
- ② 家の手伝いを何かひとつでもいいからすすんでやろう。
- ③ 自分から声を出して、まわりの人にあいさつをしよう。
- ④ 読書をしよう。
- ⑤ ニュースにかん心を持ち、できるだけ新聞を読もう。
- ⑥ わからないことや新しく発見したことは、本やコンピューターで調べてみよう。
- ⑦ 毎日30～40分は、学習しよう。
- ⑧ 明日の学習や用具のじゅんびをしておこう。

宿題のほかに、こんな学習をしてみよう

じしゅ
～自主学習～

- ① 今日のじゅ業で学習したことのふく習をする。
- ② はっきりとした声で音読の練習をする。（家の人に聞いてもらおう。）
- ③ 一日のふり返りとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ④ ドリルなどを使って、筆順に気をつけながら漢字の練習を進める。
- ⑤ ドリルなどを使って、計算問題をたくさんといてみる。
- ⑥ 分からない言葉を辞典（じてん）で調べて、用例も書いておく。
- ⑦ テストやプリントでまちがったところをもう一度やり直してみる。

教科ごとの自主学習のしかた

国語	<ol style="list-style-type: none"> ① 音読をする。 ② 漢字ドリルなどを使って、新出漢字や習った漢字の練習をする。 ③ じゅく語を調べたり、じゅく語作りをしたりする。 ④ 視写（ししゃ）する。 ⑤ 短文をつくる。 ⑥ 語句の意味やことわざを調べる。（辞典（じてん）を使って） ⑦ 同じ部首の漢字を調べる。 ⑧ ローマ字の練習をする。 ⑨ 読書をし、感想を書く。 ⑩ 詩や作文を書く。
算数	<ol style="list-style-type: none"> ① 学習したことを復習（ふくしゅう）する。 ② 教科書やドリルの計算問題を復習する。 ③ 自分で文章問題を作って解（と）く。 ④ 長さや重さなどの単位（たんい）を調べる。 ⑤ 定規（じょうぎ）や分度器（ぶんどき）、コンパスなどを使って図形をかく。
社会	<ol style="list-style-type: none"> ① 社会の教科書をよく読み、大事なところをまとめる。 ② いろいろな地図の記号を覚（おぼ）える。 ③ 徳島県の市町村の名前や位置（いち）を覚える。 ④ 日本の47都道府県（とどうふけん）の名前や位置を覚える。 ⑤ 調べ学習をする。 （図書館の本や資料（しりょう）などを利用して、自分の分かったこと・感想などをまとめる。） ⑥ 新聞の切りぬきをして、資料を集める。
理科	<ol style="list-style-type: none"> ① 理科の教科書をよく読み、大事なところをまとめる。 ② 実験（じっけん）の予想を立ててみる。 ③ 観察（かんさつ）したことや、図書館などで調べたことをまとめる。 （動植物、天気、太陽、月、星座（せいざ）など）
音楽	<ol style="list-style-type: none"> ① 音符（おんぷ）を正しく読み、書く練習をする。（本をよく見て） ② リコーダーやけんぱんハーモニカの練習をする。 ③ いろいろな記号を覚える。 ④ いろいろな音楽をきく。（CDやテレビ、生えんそうなど）
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを持って、自分自身の力にあった体力づくりに、ちょうせんする。 （なわとび、持久走（じきゅうそう）、水泳、ボール運動など）
日記	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のできごとをふり返り、自分の気持ちも入れて書く。 （学習したこと、遊んだこと、手伝いをしたこと、見つけたこと）